

第30回萩原朔太郎賞受賞者 川口晴美展

世界が 魔

女 なるもの を 本 質

2023 3/4 Sat ▶ 5/21 Sun

開館時間：9時～17時(入館は30分前まで) 会場：2階展示室

- ◆サテライト展示：前橋市役所、前橋市立図書館、前橋プラザ元気21、東和銀行本店
- ◆休館日：水曜日、5月9日(火) ※5月3日(水・祝)は閉館
- ◆観覧料：一般500円 ※高校生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名無料
- ◆観覧無料の日：3月4日(土)(展覧会初日)、5月21日(日)(展覧会最終日)
- ◆協力：新潮社、東和銀行



萩原朔太郎記念「水と緑と詩のまち

前橋文学館

この世界を踏み砕く魔法を囁きたいわたしの ひとしずくの夜はつながって壁を越えわたしたちの森へ注がれていく

詩人・川口晴美が詩を編むために、これまで歩んできたその軌跡と思考を
本人所蔵の資料などを交えながら紹介、その世界観を紐解く。

川口晴美 Harumi Kawaguchi

1962年1月10日生まれ。福井県小浜市出身。早稲田大学第一文学部文芸専攻卒。詩人、
國學院大学、文教大学などで非常勤講師。2010年『半島の地図』で第10回山本健吉賞、
2016年『Tiger is here.』で第46回高見順賞を受賞。その他、『現代詩文庫196 川口晴
美詩集』(2012年)や近現代の男性詩人による詩をBLという観点で読み解く画期的なア
ンソロジー『詩の向こうで、僕らはそっと手をつなぐ。』(2014年)などがある。



受賞作 『やがて魔女の森になる』

2021年10月発行 思潮社

2017年発行「早稲田文学増刊女性号」に初出の
「世界が魔女の森になるまで」を中心に置き、作られ
た詩集。装丁にイケムラレイコ氏の作品「Amazona」
を使用している。



展示資料



「キレツノキオク」

(版画家・製本家の藤
井敬子氏の作品に詩を
提供)



「おかえり」の詩の箱



「双花町についてあな
たが知り得るいくつか
のことがら」
(paper version 3)



「手作りコラージュ詩」

記念イベント

▶申込：事前予約制 参加費：無料 会場：文学館3階ホール

※18歳以上の方は当日有効の展示観覧券をお持ちください

▶予約申込はすべて2月23日(木)より ☎027-235-8011

1 歴代受賞者座談会

同時開催の企画展「歴代受賞作品展」との連動企画。

川口晴美・歴代受賞者達のトークセッションをお楽しみください。

- ◆2023年3月19日(日)14時～15時30分(13時30分開場)※予定
- ◆出演：川口晴美(第30回)・小池昌代(第18回)・岡本啓(第25回)・
和合亮一(第27回) ◆定員50名

2 作品朗読会～「川口晴美の世界」を読む～

他の出演者とともにご本人が朗読します。

川口晴美の詩世界をたっぷりご堪能ください。

- ◆2023年4月23日(日)14時～15時30分(13時30分開場)※予定
- ◆出演：川口晴美・萩原朔美、他 ◆定員50名

3 ワークショップ～「言葉を紡ぐ」エンドレスカードを作ろう～

開いても開いても永遠に終わらない不思議なパタパタカード! 子供から大人まで参加可能です。

- ◆2023年5月6日(土)
- 1回目 / 10時～11時30分
- 2回目 / 13時～14時30分
- 3回目 / 15時～16時30分

◆講師：小宮山裕(稀人舎代表・グラフィックデザイナー)

ゲスト：川口晴美

◆各回定員20名

※未就学児の参加は保護者が補助できる場合のみ参加可能。小学生以下のお子様は保護者(16歳以上の方)同伴で入館をお願いいたします(その際、保護者の方は別途入館料がかかります)。



イベント全てに
川口晴美氏が
来場します!

アクセス(交通案内)

◆電車 JR前橋駅から徒歩約15分

上毛電鉄中央前橋駅から徒歩約5分

◆自動車 関越自動車道 前橋ICから車で約15分



同時開催

"詩"をいきるひとたちへ
-萩原朔太郎賞歴代受賞作品展

2023年3月4日(土)～6月4日(日)
会場：3階オープンギャラリー



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち

前橋文学館

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目12-10
TEL.027-235-8011 FAX.027-235-8512
<https://www.maebashibungakukan.jp>

※感染症拡大状況によって、開催や内容
の変更をさせていただく場合があります。
ご来館の際は、事前にホームページ
をご覧ください。お電話でお問い合
わせください。



前橋文学館
展示案内サイト